

# 例会報告

第2632回例会報告議事録

日時 令和3年2月16日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12：15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

## 会長挨拶

村越会長



前회가1月12日でしたので約1ヶ月以上あいた例会になります。

先週9日に理事会を開催し、今後の例会をどうするかを話し合いました。緊急事態宣言は解除されていませんが、密を避け、食事の時以外はマスクをして、なるべく会話はせず、続けていきましょうということになりました。来週は休日です。3月も通常通り例会を開催したいと思います。が、コロナがおさまったわけではありませんので引き続き十分に注意していただき、体調も考慮されてZOOMで参加される等していただければと思います。

6月に台北で行われる予定だったRIの国際大会ですが、今年はバーチャル大会という形で行われることになりました。

台湾の豊原クラブの60周年記念式典は6月12日(土)に行われる予定で、こちらは予定通り開催するという案内が来ました。ただ、台湾は入国、出国する際に2週間、合計4週間隔離することによって物理的に無理なので豊原RCには我孫子クラブとしては参加できない旨をご連絡することになります。

もうひとつ大きな出来事です。地区のグループ再編についてです。現在、我孫子は11グループですが、野田の3グループも加わり、本来ならば今年の7月、依田年度から8クラブで別のグループになるという訂正案が上がっていました。が、地区内でそれに反対するクラブも多数あり見直しされて、依田年度では再編されず延期することになりました。主な理由は、通知があまりにも唐突でクラブの意向を全く聞かなかった、ガバナー補佐の選考の手続きも反対だということでした。来年度に地区内にグループ再編に向けての委員会を作成し、2年後、2023-2024年度に新たなグループでスタートすることになりました。

地区大会が毎年行われ、今年は本来10月に予定されていましたが、コロナの影響で5月に延期されました。今回は5月9日(日)1日のみで参加は各クラブ2名、基本的に会長幹事のみ参加ということですが、地区委員として出向されている上村文明会員と藤本会員も一緒に参加してまいります。

先週の理事会報告です。

我孫子ロータリークラブの55周年記念例会は当初12月に予定していましたが、コロナの影響で延期となり、6月22日(火)を第一候補ということでクレストホテルを予定しております。日程がはっきりしましたらまたご連絡いたします。

本年度、米山奨学生フォンさんをスポンサークラブとしてお預かりしておりますが、クラブの活性化するためにも来年度も奨学生の受け入れをエントリーさせていただくことにしました。我孫子で奨学生を受け入れることになりましたら、カウンセラーとして今年も鈴木会員にお願いいたします。

以上、会長報告とさせていただきます。

## 上村文明会員に村越会長より地区大会資格審査委員会委員の委嘱状授与



## 瀧日会員に村越会長よりポールハリス フェロー授与



ロータリー財団への寄付が1万ドルを超えた方に授与されるバッジです。  
瀧日会員は3回目の授与です。  
瀧日会員、おめでとうございます。

## 村越会長にポールハリス フェロー授与



## 親睦委員会報告

荒井会員 (代理)



本日はお誕生祝いの方が3名いらっしゃいます。  
2月お誕生日の上村英生会員、  
1月お誕生日の関根会員と今井会員です。



### 上村英生会員より

お誕生祝いをありがとうございます。  
気がついたら今年50になります。つい最近30になったかなと思ったら、あっという間に50になりびっくりしています。この50代の10年間でいろいろな事にチャレンジして成長していきたいと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。



### 関根会員より

私も上村会員と同じ年です。本当にあっという間に時間がたつてしまって、10年前に青年会議所という所を卒業させてもらい、10年で何をやっただろうと思いながら今日を迎えています。  
10年前に、10年後の私にという手紙が青年会議所の企画があり、そこにきつとすごく勉強しているだろうと書いた記憶があり、どうしようと思っています。ありがとうございました。



### 今井会員より

1月2日が誕生日なのですが、例会に出席できず今日お祝いをいただきまして大変ありがとうございます。  
この歳になりますと、あとは終末、どうやって自分の御魂を示して行こうかというところです。コロナに負けずにしっかりと頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



## 社会奉仕委員会報告

藤本委員長



地区からのご報告が4点ございます。

2月14日(日)第2回地区委員長会議がありました。このような状況ですので会場参加は極力避けてくださいという事で私もZOOMで参加しました。

次期ガバナーの梶原ガバナーエレクトから国際協議会について報告がありました。本来ならば現地での実施になるのですが、2月1日~11日にオンラインで行われました。

地区再編につきましては、2022-2023年の小椋年度で各会員に周知をし、2023~2024年度の湯沢年度で実施する予定でありますので、会員の皆様にはご理解いただきたいとのことでした。

3月6日(土)に地区委員長会議がありますので、その時にビデオ撮りをし、それを3月27日(土)の会長エレクト研修セミナーにおいてYouTubeで発信することになっています。

4月25日(日)地区研修協議会についてはオンラインで行うかどうか、現在検討中との事です。

## 出席委員会報告

堤会員(代理)



21名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率65.62%

病院による欠席2名

業務による欠席者：小池会員、三枝会員、佐藤会員、塩毛会員、寺井会員、服部会員、日暮会員、福武会員、前田会員、柳田会員、湯下会員

## 幹事報告

倉持幹事



・昨年、2020年度の米山記念奨学生の修了式および歓送会のご案内  
3月13日(土)15時開会 三井ガーデンホテル千葉にて  
参加者はカウンセラーを引き受けてくださっている鈴木会員とフォンさんになります。

・ロータリー学友による被災地復興チャリティコンサート開催のご案内  
3月21日(日)16時開演 フラッツ習志野 習志野市民ホールにて  
先着150名 ZOOMでも配信 登録料 お一人3,000円

・地区大会記念ゴルフ  
5月17日(月)鶴舞カントリー倶楽部にて  
プレーフィー22,000円 登録料10,000円

## 卓話

上村文明会員

ガバナー補佐の時、情報研修会でグループディスカッションを行い、そこでDL(ディスカッションリーダー)という存在を知りました。10年前から地区ではRLIの元でディスカッションリーダーを養成しているそうです。

諸岡年度の時にパート1~3までと、卒業コース、養成コース、その5つに出てDLの資格をいただきました。その後、ブラッシュアップ研修というのが3回あります。今年は2月に行う予定でしたが、3月13日にパート1を行う予定です。パート1からパート3を終えると卒業証書がもらえます。今、我孫子クラブでは村越会長、服部会員、藤本会員と私と4名参加しております。私はDLの資格をいただきました。

今日はRLIについてお話ししたいと思っています。お手元に資料をお配りしましたのでそれに沿ってお話ししたいと思います。

RLI(ロータリー リーダーシップ研究会)というのは、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指すことが目的であり、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。参加者同士の自由闊達な意見交換とリーダーシップ研究を通し、ロータリアンの心を磨き信用を深めることにより、ロータリークラブの価値を高め、信頼を広めることとなります。

RLIに参加するとこういうテキストがもらえます。私が昨年行ったパート1は「ロータリアンとしての私」、パート2が「私たちのクラブ」、パート3が「私たちのロータリーの旅」という形でした。

お配りした紙に「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立」という図があります。下からパート1、パート2、パート3となっていて螺旋的な展開になっています。

パート1では、「リーダーシップのスパイラル」(ロータリーにおけるリーダーシップ)、「奉仕のスパ

イラル」(奉仕プロジェクトを創造する、私たちの財団)、「会員組織強化のスパイラル」(倫理と職業奉仕、会員の参加を促す、私のロータリー世界)、についてディスカッションをします。

パート2では「私」から「私たちのクラブ」ということでクラブ単位となり、「リーダーシップのスパイラル」(チーム作りとコミュニケーション、効果的なリーダーシップ戦略)、「奉仕のスパイラル」(米山記念奨学事業、財団・目標とする奉仕、ロータリーの機会)、「会員組織強化のスパイラル」(会員を惹きつける)、について話し合います。

パート3ではロータリーの旅ということで、外に出ます。「リーダーシップのスパイラル」(私たちがロータリーを変える規定審議会、公共イメージと広報、戦略計画とクラブの分析)、「奉仕のスパイラル」(財団・国際奉仕)、「会員組織強化のスパイラル」(強いクラブを作る、変化をもたらす)、について話し合います。

このように6単位ずつ、10時から6時くらいまでのディスカッションを3日間行ってパート3まで終わると、卒業証書がもらえます。その後、卒業コースとリーダーシップ養成講座を受けると資格がいただけます。その後ブラッシュアップ研修もあります。

体験をし考えていただいて、より良い、より強いロータリアンを育てることがRLIの目的です。

その次に、ロータリーの誕生について書いてあります。

20世紀の初頭にシカゴで弁護士として仕事をしていたポール・ハリスが友人3人とお互い信頼できる公正な取引で信用できる仲間を構築するため1905年にシカゴロータリークラブを作りました。

日本では米山梅吉たちにより1920年に東京ロータリークラブが、世界の855番目のクラブとして創立されました。

RLIは1992年にアメリカで設立され、今や世界中に支部がある全世界的な組織となりました。RLIは草の根運動でロータリアンが啓発活動を支援しディスカッションの形で行なっています。

RLIの歴史と変化の背景について少しまとめてみました。

RLIは1992年にアメリカのニュージャージー州で元RI理事のデビッド・リンネット氏の発案で進められた組織です。

2008年、ロータリー創設から100年が経過した頃、社会構造の変化や意識、事業や職業が激変していることを考慮してロータリー活動のあらゆる面で検討しなければいけないという認識が求められてきました。そういうことでRLIは研究組織としてできました。

RLIの理念と哲学についてです。

リーダーシップの技術を持つことだけでなく、魅力あるロータリアンとしての効果的なリーダーとなるためには人間性を豊かにすることが肝要です。ロータリーの知識はもちろんのこと、これからどこへ向かうのかという展望を持ち、ロータリーがあるべきビジョンについての深い考え方をもち、さらにはロータリー精神を磨き、豊かな人間形成を深める意欲を持った、寛容な心と多様性と柔軟性、刷新性、高潔性を目指します。人を惹きつけるためにはロータリーの中核的価値観を咀嚼し、積極的に理解を深めることが必要です。

RLIの研究は、従来のように講義を聞くスタイルではなく、決められたテーマについて皆で自由に意見を出し合って討議する形式になります。

一番最後の所にRLIのカリキュラム参加の基本的な決まり事が書かれています。

パート1については「ロータリアンとしての私」について10人以下、大体6人位でディスカッションをします。

- ・自由にディスカッションに参加しましょう
- ・注意深く聞き取りましょう
- ・経験を十分に語り合しましょう
- ・他人の発言に対して寛容になりましょう
- ・自分と違った視点に対して感謝しましょう

グループディスカッションの時は自分の意見をどんどん言う方もいるし、テーマから離れて話す方もいるし、多種多様な展開が考えられます。その時に、グループディスカッションリーダーがテーマに皆さんを導いて、参加している皆さんが活発に意見が言えるような環境を作ります。ディスカッションリーダーは自分の意見を言わずに皆さんの意見を引き出す形になります。

参加者はルールを守り、他人の言う事を「なるほど、そういう意見もあるな」と尊重し、謙虚になる必要がある、ということも書いてあります。

マザーテレサの言葉も書いてあります。これは大変感銘を受けました。

「思考に気をつけなさい。それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい。それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい。それはいつかあなたの習慣になるから。習慣に気をつけなさい。それはいつかあなたの性格になるから。性格に気をつけなさい。それはいつか運命になるから」

(次ページに続く)



RLIは参加者自らが考え、発言し、理解を深め合う場です。また、ロータリー精神の寛容を目的としています。

他の参加者の言葉はあなたの心の反映を受け止め、他者をいかに寛容できるか、裏を返せば、自分と自分の度量をはかることです。自分と相反する意見を排除することなく受け入れるには寛容の心、個人的な成長が求められます。自分の立場に縛られることなく、いいと思ったものは受け入れ、指摘されたことには素直に受け止め、刷新と柔軟な姿勢が豊かな自己成長の糧となります。自分の心の動きや身の回りの出来事を冷静に見つめること、常に自分としての意見を持つ人格形成や高潔性にも繋がります。

これらのことを自分に命じてディスカッションに参加し、与えられたテーマについて自分のロータリー経験をもってしたことを皆さんの前で発表し議論することが、RLIの研修です。

世界各地、それぞれの国の文化や習慣の違いは尊重し、各々の違いに応じた方法や内容を加えて研修を行います。

これから我孫子ロータリークラブを背負って活動していく若い人たちにRLIのリーダーシップ研修に是非参加していただき、外に開かれた中で勉強していただき、強い我孫子ロータリークラブを作っていただけたらありがたいと思います。

私のこれからの役目は、どれだけ多くの会員の皆さんにRLIの研修に行っていたかということなのです。知らない人たちの中で話し合うので、多くの仲間ができます。是非積極的に参加していただければと思います。ありがとうございました。

## 閉会の言葉

村越会長

上村会員、卓話をありがとうございました。私もRLI参加者で、パート2だけ残していますので、すぐ追いつきたいと思います。よろしく願いいたします。次回3月2日にまた皆さんの元気な顔を拝見したいと思います。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
村越会長	上村文明会員 卓話ありがとうございました。久しぶりに会員の皆様にお会いできてうれしかったです。	2,000円
荒井会員	上村文明会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
今井会員	誕生祝ありがとうございました。	1,000円
小野会員	上村文明会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
梶会員	上村文明会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
上村英生会員	誕生祝ありがとうございました。	3,000円
関根会員	上村先生 卓話ありがとうございました。お誕生日プレゼントありがとうございました。	1,000円
堤会員	上村文明会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	皆様お久しぶりです。	1,000円
依田会員	上村会員 RLIが良くわかりました。ありがとうございました。	1,000円
米田会員	上村文明会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		14,000円
今期累計		354,000円

今週の表紙「竹内神社」千葉県我孫子市布佐1220番地

竹内神社の例大祭は江戸中期の享保年間に始まった歴史ある伝統行事です。竹内神社の氏子である5町内が持ち回りで、五穀豊穡を祈願します。成田街道（国道356号線）沿いで神輿・山車が巡行する際は大勢の見物客で賑わいます。2011年は東日本大震災で受けた液状化被害の為に中止となりましたが、住人らの「復興につなげたい」との思いで翌年から再開しました。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。